



子ツトツニク ネツトツニク

西川副小学校だより 第16号

令和6年1月10日

文責 校長 大石 文枝

学校教育目標:よく学び 助け合う 元気な子の育成
～かしこく やさしく たくましく 笑顔輝く西っ子～
自分を大事に そして人を大事に! 自分で考え、動きます!



西川副小学校HP

QRコード

保護者様、地域の皆様

新年あけまして おめでとうございます

新しい年、令和6年を迎えました。保護者の皆様、地域の皆様、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。この令和6年がよき1年となりますことをご祈念申し上げます。

この冬休み中においては、大きな事故やけが、病気で入院などの報告もなく、みんなが元気に過ごせたことが、まずは、何よりありがたいことだと思えました。きっと、子どもたちが生活上の注意や約束事をしっかりと守ってくれたからでしょう。ただ、能登半島では元日に最大震度7の地震が発生し、犠牲者や安否不明者がたくさん出られます。また、寒い中避難所生活を余儀なくされている方も大勢出られます。天災とはいえ、その残酷さや非常さに胸が締め付けられます。何かできることはないかと子どもたちと考えていきたいと思えます。

さて、昨日から3学期が始まりました。朝から校門で元気に立ち止まり挨拶をする子どもたちの表情を見てみると、寒さも一気に吹き飛ばすようでした。元気なその声には、張り切る気持ちがあふれていると感じました。

3学期は、学年納めをする学期として、学習を仕上げる学期です。6年生は中学校へ、5年生以下は1つ上の学年に向けて、しっかりと足下を固める学期です。3学期も全職員で子どもを中心にの指導を継続していきます。そして、短い学期ですので、はじめから学習も生活もスタートダッシュで、がんばらせたいと思っています。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

◆「1年の計は元旦にあり」◆

「1年の計は元旦にあり」と言いますから、新しい年を迎えて、「今年はこのことを頑張りたい」「今年こそは、もっとよりよい自分になる」といった具合に、自分の目標を立てた子どももいることでしょう。早速、その目標に向けて努力を始めている子もいるかもしれません。

立てた目標は、これまでの自分を振り返って立てた目標でしょうかから、その目標が達成できるように「成すこと」つまり、実行することが大事だと思います。当然、やってみてうまくいかないことはあります。

でも、上手くいかなかったことを含めて、それも自分を大きく成長させる糧となるはずで。だからこそ、やるのが大事。「やらなかった」では、何も生み出しませんし、成長も望めません。

相田みつをさんの「やらなかった」と「やらなかった」は「れ」と「ら」のたった、一文字違い。でも、そこには雲泥の差があります。短い言葉の中に人生の教訓が見え隠れしていて、奥が深い言葉だと思えます。1年の終わりの12月に今年を振り返る時「やらなかった」にならないよう、目標に向かって実行あるのみです。

相田みつを

ど
っ
ち
か
な

や
ら
な
か
っ
た

や
れ
な
か
っ
た

☆☆☆きらり賞の賞状を贈っています☆☆☆

以前にも書きましたが、今年度は「自分のため、そして人のために自分で考え行動している人」にシールを渡したり放送で紹介したりしています。シールが40枚(シート2枚)もたまるなんて、本当にすごいことです。そこで、シートが2枚分たまった人を「きらりさん」として表彰しています。校長室か教室かを本人に選んでもらい直接、私から賞状を渡しています。2学期までに賞状を渡した人は、全校で8人。あと少しで、シートの2枚目がたまる人もいます。

残りの3ヶ月も、考えて動ける西っ子を目指します。

◆外国語活動(3・4年生)外国語科(5・6年生)の授業紹介◆

現在の学習指導要領になってから、3・4年生は週に1時間の外国語活動、5・6年生は週に2時間の外国語科の授業を行っています。昨年度はそれぞれの担任が授業を行っていましたが、今年度は本校に英語専科の加配ができましたので、その職員が3年生から6年生までの授業を一手に担っています。専科の先生なので、専門性もとても高く、子どもたちのやる気を引き出すのもとても上手です。授業の補助的な立場として時々来られるALTのマリカ先生とも息の合ったパフォーマンスで、授業を盛り上げられます。だから、子どもたちは外国語活動や外国語科の学習を毎回とても楽しみにしています。今回は、その授業の一コマを紹介します。

3年外国語活動

「タングラムにちょうせんしょう」

これまで、子どもたちは赤や黄色などの色や三角形や四角形などの形について、英語で言う言い方を学んでいます。その学んだ言い方を使って「タングラム」に挑戦していました。先生から指示をされた形ができると大喜びの子どもたちでした。



「タングラム」のやり方を説明する先生



「Nice」「Good」等、言葉かけをしてもらい嬉しそう!

◆人権集会6年生平和学習発表会◆

毎年、本校では6年生が長崎の修学旅行や総合的な学習の時間で学んだ平和学習について下級生に発表する人権集会を行っています。長崎の修学旅行では被爆体験者の八木道子さんから「平和のバトン」を託された6年生の子どもたち。その八木さんの思いに応えるべく、どの子どもも真剣に学んだことを発表していました。そして、その発表にはこれから平和な世の中を自分たちで創っていくのだという決意が感じられました。6年生が、熱い思いで語っているので、聞く5年生以下の子どもたちも真剣に聞き入っていました。また、5竹では発表が終わった後に「写真を見ていいですか?」と言って応用紙に貼ってある写真を近くに寄って見る姿がありました。さすが、来年度の6年生です。

子どもたちの発表を聞きながら、今世界で起こっている戦争や紛争が一刻も早く終わることを願わずにはいられませんでした。



発表する6年生



聞き入る下級生

社会を明るくする運動作文コンテスト

以前、学校だよりで「社会を明るくする運動」の一環で、5・6年生が佐野常民記念館の館長さんの講演を聴いたことを書きました。子どもたちはその講演を聴いたことをきっかけとし、明るい社会を自分たちで築いていこうと「社会を明るくする運動作文コンテスト」にたくさん応募してくれました。それを受けて、西川副小学校に佐賀地区保護司会の方から「社会を明るくする運動に進んで協力し、この運動の推進に多大な貢献をしました」という右のような「感謝状」が贈られました。校長室前の「情報ひろば」に飾っています。学校にお立ち寄りの際は、どうぞご覧ください。

